

令和7年度 学校評価報告書

| | |
|----|-------|
| 園名 | 三輪幼稚園 |
|----|-------|

1 教育目標

『元気いっぱい みわっ子』

- ・友達と協力できる子どもを育む
- ・やさしく思いやりのある子どもを育む
- ・自分で考えて行動する子どもを育む

(八景中学校区共通目標)

人も自分も学校もふるさとともに大切にできる子

2 重点目標

「たのしもう みとめよう つながろう」
～地域の横のつながりの中で、
共に子どもの姿を見取る～

3 自己評価結果

| 分野領域 | 評価項目 | 幼稚園の取組状況・改善の方策 |
|------|---|--|
| 教育課程 | 「生きる力の基礎」を育む保育の創造 ・安心感、居場所感を基盤に、自ら考え、夢中になって遊び込むことができる環境構成や援助の工夫 ・3年間を見通した、個の成長と集団の育ちの保障 | ・「遊びや学びのプロセス」に焦点をあて、幼児が安心感、居場所感を基盤に、自分たちで考え、選び、決めることができる環境構成や援助の工夫に努めることで、個の育ちと集団の成長が見られた。 ・引き続き、より深い幼児理解に努め「資質・能力の育ち」を見取りながら保育の質の向上に努める。 |
| | しなやかな心や体を育む取り組みの工夫 ・「わくわく体操」を基盤とした体づくりの推進 ・幼児の興味関心に応じ、多様な動きが経験できる場づくりの工夫 | ・「わくわく体操」の継続した取り組み、友達と楽しく体を動かす多様な遊びの経験により、一人一人が自分なりの目標をもち、意欲や達成感など、個々の内面の育ちが見られた。 ・次年度も、遊びの中で経験している体の動きを捉え、発達段階に応じた基本的な運動の種類や動きのバリエーションを経験できるように遊びや活動内容の工夫をすると共に、園外保育の機会を増やし、体づくりを推進する。 |
| 安全管理 | 安全な園づくりの推進 ・家庭や地域の関係機関、団体との連携の推進 ・危機管理マニュアルの作成・活用、安全点検や教職員・幼児の安全対応能力の向上のための取組の推進 | ・各種訓練計画を見直し、実効性のある訓練となるよう努めることで、訓練の質は向上している。今後は、取り組むべき課題を整理し、地域、関係諸機関と連携し、災害時の行動の確認や自分の命を守ることができるような意識づけ、防災力の向上に努める。 |

4 学校関係者評価

- ・幼稚園がこどもにとって安心できる場所であり、興味や関心に応じた環境が構成されている。「生きる力の基礎」を育むためには“考える力”が大切であるが、年齢に合わせて自分で考え、工夫したり、決めたりする環境や支援が行われ、3年間を見据えた教育の取り組みによる育ちが見られた。
- ・異年齢で継続した「わくわく体操」の取り組みは評価できる。行事等を参観してもしっかりと椅子に座ることができており、体幹が育っていることを感じる。興味や関心に応じた多様な動きが経験できる場の工夫により、基本的な体の使い方が身につけており、これらは小学校の豊かな学びにつながると感じる。
- ・今年度の取り組みの課題にもあるように、次年度は防犯に対する意識を高め、こども達が「自分の命」を守ることができるような意識づけ、地域や関係機関と連携しながら安全対応能力向上のための取り組みの推進を期待する。

(別紙様式 2)

| | | | 4 学校関係者評価 |
|------------|---|---|--|
| 保護者・地域との連携 | <p>地域のよさを生かした園運営の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かにつながりを構築していくことができる活動内容、情報発信の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> 幼児の興味や関心、育ちと学びの姿、園の取り組みの様子を発信することで、保護者や地域からも子ども達の「やってみよう」という思いが実現できるよう協力を得ながら教育活動を進めていくことができた。 次年度は、写真掲示や通信をタイムリーに発信し、豊かなつながりを構築できるように努める。 | <ul style="list-style-type: none"> 今後もふれあいサロンのお年寄りとの交流等、地域との関係を大切にしてほしい。地域の特性を生かした活動の推進、充実を図り、園の取り組みの様子や幼児教育の重要性をホームページ等で発信していただくことを期待する。 |
| 子育て支援 | <p>親と子の育ち合いの場としての役割や機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 親と子が安心して集える場と情報発信の工夫 未就園児との交流、園庭開放等における支援の充実 子どもの育ちを支え、保護者に寄り添う子育て相談の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 子育ての相談等を安心して話することができる場づくり、雰囲気づくりを心がけながら、子育て支援事業を計画、実施した。 引き続き、子育て家庭が集い、安心して子育ての相談や悩みを話せるような場となるよう、通信、掲示等を活用しながら発信し、地域の子育て支援の拠点にセーフティーネットとしての役割を果たしていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、地域における子育て支援の拠点として親子の居場所づくりや預かり保育、子育て相談等の子育て支援の充実を期待する。 |
| 校園所連携 | <p>学びと育ちの連続性を意識した幼保小の接続の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 三輪小学校区幼児教育施設との横のつながりの構築 地域の子どもに関わる教師の資質向上 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の幼児教育施設3園との横のつながりを核とし、地域のこどもを共通のまなざしで育てていくという風土が定着してきたと感じる。就学後に安心感の中で自分らしさを発揮する姿につながっている。引き続き、架け橋期の教育の充実に努めていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 幼保小接続の取り組みを通して、就学後に安心感の中で自分らしさを発揮できていることを評価する。今後も引き続き、円滑な接続と“架け橋期”の教育の充実を期待する。 |

5 総合的な評価結果

・遊びの中の学びの芽生えを丁寧に見取り、子ども達が遊びの中でどのように学んでいるのか、「遊びや学びのプロセス」に焦点を当てて取り組みを進めた。地域の幼児教育施設も共に子ども達の姿を同じ視点で捉え、遊びの中での学びの芽生えや育まれつつある資質・能力を共通のまなざしで見取りながら、互いの教育の質の向上をめざした。次年度は幼児一人一人の学びを支えるために、こどもの姿の見取りの深まりや、育みたい資質・能力の方向性を明確にした援助力の向上を意識し、保育の中で感覚的に捉えていたことを言語化して、価値付けながら、保護者、地域、小学校により分かりやすく発信していきたい。

・家庭、地域、関係諸機関と連携しながら、安全な園づくりの推進に努める。

6 総合的な学校関係者評価

・幼稚園が子どもにとって安心できる場所であり、子ども達が遊びの中で学んでいることを丁寧に読み取り、環境構成や援助の工夫に生かされている。こどもの個の成長と集団の育ちにつながっている。

・今後も地域における子育て支援の拠点として親子の居場所づくりや預かり保育、子育て相談等の子育て支援の充実を期待する。

・今年度の取り組みの課題にもあるように、子ども達が「自分の命」を守ることができるよう意識づけ、地域や関係機関と連携を強化しながら、安全対応能力向上のための取り組みの推進を期待する。